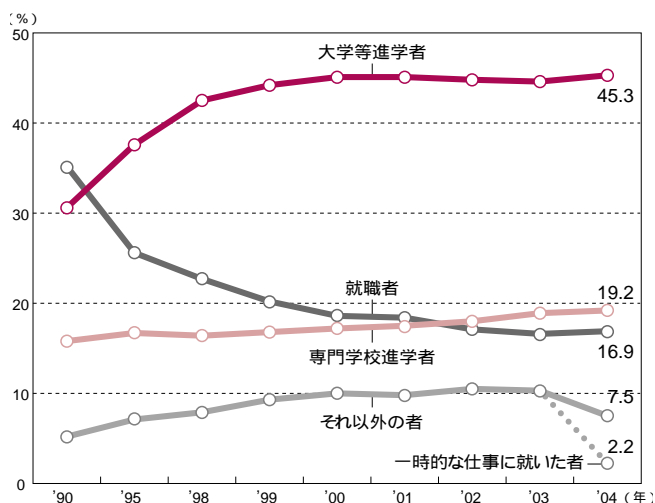


高校生の進路状況

一旦社会に出てから大学や専門学校で学び直すなど、多様な進路をたどる人が増えている。従来の枠組みにとらわれず、長期的な視野で進路選択する時代だ。

#01 卒業後の進路先の変化

大学、専門学校進学率が04年は過去最高



ここ数年頭打ち傾向のあった大学や短大への進学率が、04年はわずかに上昇。専門学校進学率も上がり、ともに過去最高となった。また、04年からはアルバイトやパートなど「一時的な仕事に就いた者」を調査開始。2.2%となっている。進学も就職もしない「それ以外の者」は7.5%となった。

文部科学省「学校基本調査」
04年から「一時的な仕事に就いた者」を調査開始
「それ以外の者」には家事手伝い、海外進学、進路未定が含まれる

#02 高校学科別 大学等進学率と就職率

専門高校で大学進学が一般的に

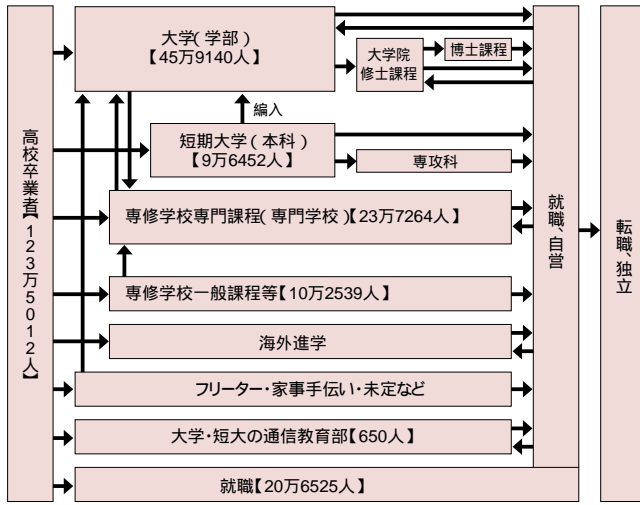
高校学科	大学等進学率			就職率		
	94年 (%)	04年 (%)	増減	94年 (%)	04年 (%)	増減
普通	43.9	53.1	9.2	16.2	8.5	7.7
農業	6.5	13.0	6.5	69.9	49.0	20.9
工業	7.4	17.1	9.7	70.9	52.1	18.8
商業	12.3	21.5	9.2	60.9	40.2	20.7
水産	8.8	14.0	5.2	77.2	57.7	19.5
家庭	16.3	20.2	3.9	53.5	36.6	16.9
看護	35.4	48.2	12.8	25.2	14.7	10.5
その他	59.3	59.3	0.0	10.2	8.6	1.6
総合学科		30.1			25.8	

10年前と比較すると、普通科だけでなくいずれの学科でも進学率が上がり、就職率が下がっている。10年前は就職がメインだった専門高校で進学が一般的になってきており、農業、商業、家庭で就職率5割を切っている。

文部科学省「学校基本調査」

#03 進路のルート

社会に出てから学校へ戻る選択肢もある



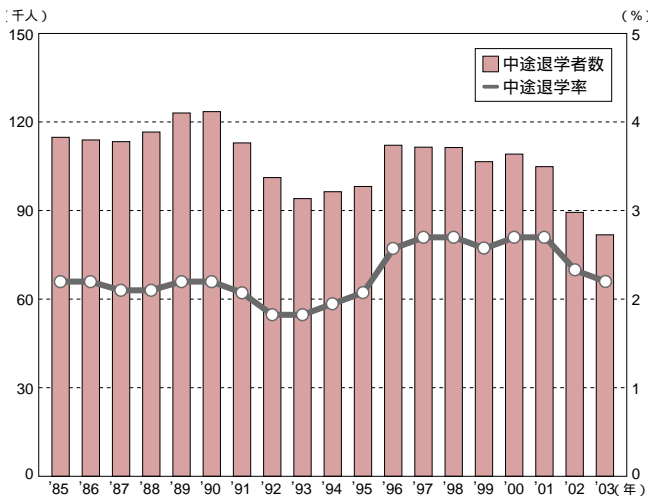
大学、短期大学の人数は全日制・定時制計

以前は「高校を卒業してすぐ就職」や「大学・短大や専門学校を卒業してすぐ就職」というルートがほとんどだったが、最近では「大学を出てから専門学校へ」「専門学校を卒業してから大学へ」「就職して数年後に大学院へ」などのパターンも増えている。高卒後すぐの進学が経済的に厳しい場合も、一度就職してから自力で進学する方法もある。長期的かつ柔軟な進路選択を検討できる。

図中の数字は「学校基本調査」2004年度版による

#04 中途退学者の推移

8万人の中退者。4割が不適應のため



03年度、公・私立高校在籍者全体の2.2%、8万1799人が中途退学した。3年連続で減少したものの、決して少なくない。中退の理由のトップは学校生活・学業不適應(37.5%)。学年別では1年生が最も多く、中退者数全体の51.8%を占める。中退後の進路には不安も多い。早期から将来の目標や高校で学ぶ目的意識をもつことで、安易な中退を防ぎたい。

文部科学省「生徒指導上の諸問題の現状について」(平成15年度)